

## 1. Omni S2 について

- 1.1 パッケージ内容
- 1.2 各部分の名称
- 1.3 ボタン操作

## 2. Omni S2の準備

- 2.1 お使いになる前に
- 2.2 充電方法
- 2.3 専用アプリのダウンロード
- 2.4 Wi-Fi接続のリセット

## 3. 使用方法

- 3.1 使用時の注意
- 3.2 アプリでマップ作成を行う
- 3.3 進入禁止エリアと水拭き禁止エリアを設定する (専用アプリ経由でのみ利用可能)
- 3.4 掃除の予約
- 3.5 掃除モードの選択

## 4. モッピングモード

## 5. Matter、Amazon Alexa、Siri または Google アシスタントを使って本製品を操作する

## 6. チャイルドロック

## 7. 本体の清掃とメンテナンス

- 7.1 ダスト容器とフィルターの清掃方法
- 7.2 回転モップの交換方法
- 7.3 回転ブラシの清掃方法
- 7.4 センサー、カメラ、充電端子の清掃方法
- 7.5 ダストバッグの交換方法
- 7.6 フィルタートレーの清掃方法
- 7.7 汚水タンクの清掃方法

## 8. トラブルシューティング

## 9. 製品の仕様

## 10. カスタマーサポート

## 11. レーザーに関する注意事項

# 1. Omni S2 について

## 1.1 パッケージ内容



全自動クリーニングステーション  
(ダストバッグ付属)



浄水タンク



取り付け用ベース



本体 (RoboVac)



汚水タンク



液晶ディスプレイ



フロアクリーナー

パッケージデザインは実物と  
異なります。

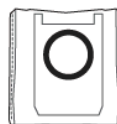


クイックスタートガイド /  
安全マニュアル



電源コード

本製品に付属の電源コードは、  
本製品でのみご使用いただけ  
ます。プラグの形状は、地域  
によって異なります。



交換用ダストバッグ

## 1.2 各部分の名称

### 本体 (RoboVac)

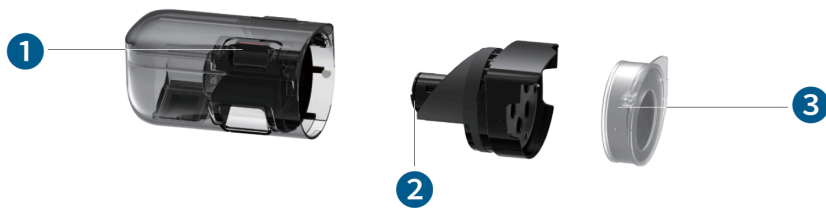


- ① カメラ
- ② 充電ボタン  
・ 1 回押す: 掃除の一時停止
- ③ ダスト容器
- ④ 上部カバー
- ⑤ 開始 / 停止ボタン  
・ 1 回押す: 掃除を開始 / 一時停止  
・ 3 秒間長押し: 電源オフ  
・ 15 秒間長押し: 強制シャットダウン
- ⑥ バンパー
- ⑦ LED ライト
- ⑧ センサー

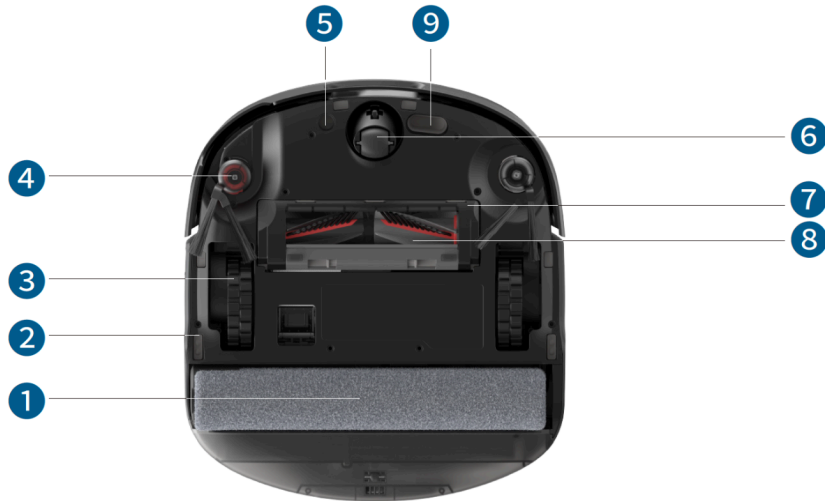


- ① 排気口
- ② 充電端子 (x2)
- ③ 汚水排出口
- ④ 注水口

## ダスト容器



- ① 取り外しレバー
- ② 金属フィルター
- ③ 高性能フィルター



- ① 回転モップ
- ② 落下防止センサー (x6)
- ③ 車輪 (x2)
- ④ サイドブラシ (x2)
- ⑤ カーペット検出センサー
- ⑥ 回転ホイール
- ⑦ ブラシガード
- ⑧ 回転ブラシ
- ⑨ Path トラッキングセンサー

## 全自動クリーニングステーション






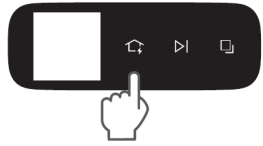
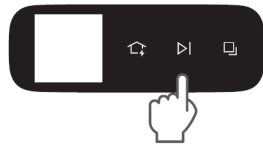
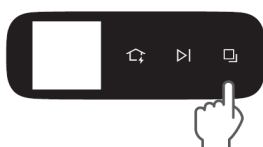
- ① 取り付け用ベース
- ② フィルタートレー
- ③ ダストバッグカバー
- ④ 浄水タンク
- ⑤ 給水口
- ⑥ 液晶ディスプレイ
- ⑦ 汚水タンクカバー
- ⑧ 汚水タンク
- ⑨ ダストバッグ

あらかじめステーションにダストバッグがセットされています。いっぱいになりましたら交換用ダストバッグと交換してください。



- ① 巻き付け軸
- ② 電源ポート

### 1.3 ボタン操作


本体 (RoboVac)		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1回押す : 掃除の一時停止</li> <li>• もう1回押す : ステーションへ戻る</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1回押す : 掃除を開始 / 一時停止</li> <li>• 3秒間長押し : 電源オフ</li> <li>• 15秒間長押し : 強制シャットダウン</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 3秒間同時に長押し : Wi-Fi接続をリセット</li> <li>• 10秒間同時に長押し : 工場出荷時状態にリセット</li> </ul>
全自動クリーニング ステーション		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1回押す : ステーションへ戻る</li> </ul>
		<p>1回押す :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 待機中 / モップ乾燥中の場合、掃除を開始</li> <li>• 掃除の一時停止 / 再開</li> <li>• ゴミ収集中またはモップ洗浄中の場合、現在のタスクを続行</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1回押す : 掃除モードの切り替え (吸引のみ / 吸引と水拭き)</li> </ul>

## 2. Omni S2の準備

### 2.1 お使いになる前に

1. 取り付け用ベースの両側を、「カチッ」と音が鳴るまで押し、全自動クリーニングステーションに取り付けます。付属の電源コードをステーションに接続します。



 • 全自動クリーニングステーションは常にコンセントに接続しておいてください。接続していないと、本体がステーションに戻れなくなります。

2. 付属の電源コードで、ステーションをコンセントに繋がします。Wi-Fiルーターの近くなど、ネットワークの安定している場所に設置してください。ステーションを、平らな床の上に、壁に沿って設置します。ステーションの左右0.5 m、前方1.5 m以内の範囲から障害物を取り除いてください。



•階段の踊り場など、周辺に十分なスペースを確保できない場所にはステーションを設置しないでください。本体が落下する恐れがあり、破損やけがの原因となります。

•直射日光が当たる場所には設置しないでください。

3. ステーションと液晶ディスプレイの接続端子部分にホコリや水滴が付いていないか、確認してから液晶ディスプレイを取り付けます。正しく取り付けられると、画面にアニメーションが表示されます。



4. フロアクリーナーのシールを剥がし、ステーションに取り付けます。正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。



• 弊社指定のフロアクリーナーのみご使用ください。他の洗剤などを使用すると製品が損傷する可能性があり、保証の対象外となります。

\*パッケージデザインは実物と異なります。

5. 汚水タンクの蓋がしっかりと閉じているのを確認してからステーションに取り付けます。



6. 水道水をMAXの目盛りまで入れてからステーションに取り付けます。



オゾン水を生成するために水道水をご使用ください。蒸留水やミネラルウォーターは使用しないでください。

• 浄水タンクには消毒液、他の洗剤、熱湯を入れないでください。製品が損傷する可能性があり、保証の対象外となります。

## 2.2 充電方法

1. 本体の緩衝材などを取り除きます。



2. 本体とステーションの充電端子が合うように接続します。本体の電源がオンになり、充電が開始されます。



## 2.3 専用アプリのダウンロード

搭載されたすべての機能をご利用いただくため、本製品は専用アプリを使って操作することをお勧めします。

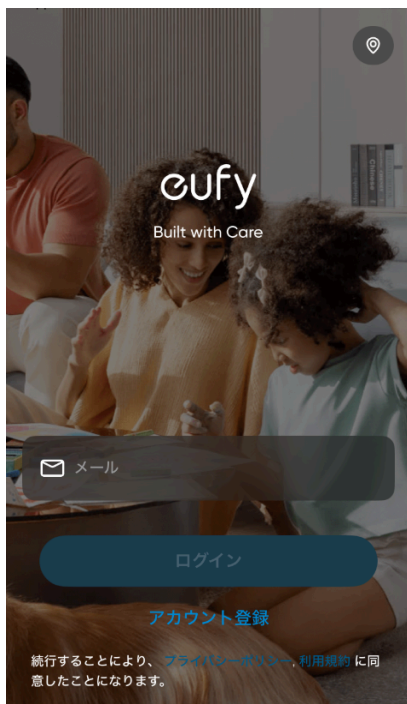
注：スクリーンショットはイメージ図です。実際の画面はソフトウェアのバージョンにより異なる場合があります。正確な情報については、実際のアプリをご参照ください。

ご使用になる前に、以下の点をご確認ください：

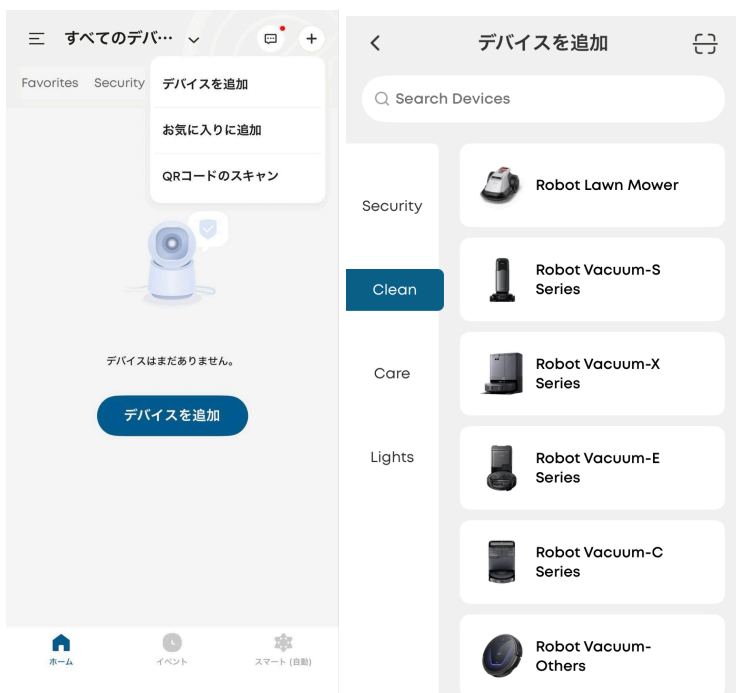
- ご使用のスマートフォンまたはタブレットでiOS 11以降あるいはAndroid 8.0以降がインストールされている。
- ご使用のWi-Fiルーターで2.4 GHz帯の無線信号が有効になっている。

1. 専用アプリを[こちら](#)からダウンロードしてください。

2. アプリを開き、新規アカウントを作成するか、アカウントにログインしてください。



3. 「デバイスの追加」または「+」アイコンをタップして、アカウントに本製品を追加します。



- 2.4GHz ネットワークを使用してください。
- VPNやプロキシサーバーを使用しないでください。
- Wi-Fi 名は特殊文字を含めることはできません。
- それでも接続できない場合は、カスタマーサポートへお問い合わせください。

4. アプリの指示に従って Wi-Fi 接続を設定します。

## 2.4 Wi-Fi接続のリセット

本製品のWi-Fi接続中に問題が発生した場合は、次の手順でWi-Fi接続をリセットしてください。

本体の「充電ボタン」と「開始/停止ボタン」を同時に3秒間長押しし、リセットを知らせる音声ガイダンスが聞こえるまで待ちます。



Wi-Fiがリセットされると、本体のLEDインジケーターが白色ですばやく点滅します。リセットが完了したら、アプリの指示に従ってもう一度Wi-Fi接続を行ってください。

## 3. 使用方法

### 3.1 使用時の注意

- 電源コードや小さなおもちゃなどは本製品に巻き込まれる可能性があるため、事前に片付けておいてください。
- 暖房機器の前や、進入すると本製品に損傷を与える可能性がある特定のエリア (通気口など) の前に、物理的な障壁を設置することを強くお勧めします。
- 本製品が損傷する可能性があるため、大量の水を吸引しないでください。
- 本製品は35mm未満の高さの物体を乗り越えることができますが、障害物はできる限り取り除いてください。
- 本製品には落下および転倒防止機能が搭載されています。ただし、センサーライトが床の表面に反射する場合や、床の色が濃い場合、また床自体が汚れている場合はうまく動作しないことがあります。本製品が落下する恐れがある場所では、必要に応じて物理的な障壁を設置するなどし、落下を防ぐようにしてください。

### 3.2 アプリでマップ作成を行う

この機能は、本製品が家のレイアウトを効率的に学習し、徹底かつ体系的な掃除を行えるように設計されています。詳細なマップを作成することで、本体は正確に移動して掃除できるようになります。

以下の点に注意してマップ作成を行なってください。

- **すべてのドアを開ける**：エリア内のすべてのドアが開いていることを確認してください。
- **エリアをブロックする**：進入してほしくない特定のエリアがある場合は、マップ作成時に物理的な障壁を設置して、本体が進入できないようにしてください。これにより、マッピングの精度が向上し、本体が不要なスペースに進入するのを防ぐことができます。マッピングが完了したら、物理的な障壁を取り除き、マップ上に進入禁止エリアを設定して、本体がそれらのエリアに進入するのを防ぐことができます。
- **障害物を取り除く**：おもちゃ、ケーブル、小さな家具、カーペットの房など、通行の妨げになったり、ブラシに絡まったりする可能性のあるものを取り除きます。これにより、本体が自由に移動し、中断されることなくエリアをマッピングできるようになります。

- **ステーションを移動しない**：マッピングが終了した後は、ステーションを移動させないようにしてください。本体は、ナビゲーションとマッピングの起点としてステーションに依存しています。移動させると、マップの精度に影響が出ます。

本製品を初めて使用する場合、まずはマップ作成を行ってください。マッピングを開始するには、アプリで「マップを管理」>「マップ作成」をタップしてください。

### 3.3 進入禁止エリアと水拭き禁止エリアを設定する (専用アプリ経由でのみ利用可能)

アプリでは、「進入禁止エリア」と「水拭き禁止エリア」の制限エリアを設定できます。制限エリアを設定すると、基本的には物理的な障壁を設置する必要はなくなります。ただし、暖房機器の前や、進入すると本製品に損傷を与える可能性がある特定のエリア (通気口など) の前には、物理的な障壁を設置することを強くお勧めします。

- **進入禁止エリア**：本製品はこのエリアに進入して掃除を行いません。
- **水拭き禁止エリア**：本製品はこのエリアに進入して水拭きを行いません。



### 3.4 掃除の予約

アプリを使用すると、指定した時間に本製品が掃除を開始するように設定できます。



- アプリでは、掃除スケジュールを時間や曜日から設定できます。この機能はアプリでのみ利用できます。
- 「おやすみモード」がオンになっている間は自動ゴミ収集は行われず、音声通知もオフになります。

### 3.5 掃除モードの選択

アプリから掃除の開始 / 停止や掃除モードの選択を行うことができます。

各モードで、掃除モード、掃除の強度、水量、吸引力、その他の設定をカスタマイズできます。



### 3.5.1 ホームモード

このモードでは、マップ全体の掃除を行います。

「スタート」をタップすると本製品はステーションから移動し、ルートを自動で選定して掃除を開始します。掃除が完了すると、本製品は自動でステーションに戻ります。



### 3.5.2 部屋指定モード

このモードでは、マップ上で指定した部屋の掃除のみを行います。

注) このモードを使用するには、事前にアプリ上でマップを作成する必要があります。部屋割りは、アプリでカスタマイズすることができます。選択された部屋の掃除が終わると、本製品は自動でステーションに戻ります。



- 部屋の掃除は、アプリでマップが作成されてから行ってください。
- 部屋の掃除を開始する際は、本体をステーションからスタートさせてください。

### 3.5.3 エリア指定モード

このモードでは、マップ上で指定したエリアの掃除のみを行います。


注) このモードを使用するには、事前にアプリ上でマップを作成する必要があります。エリアは、アプリでカスタマイズすることができます。



## 4. モッピングモード

- 1.掃除を開始すると、本製品は選択されたモードで自動的に吸引や水拭きを行います。水拭きの水量は、専用アプリで3段階から選択できます。
- 2.回転モップの臭いの発生を防ぐため、水拭きが終わった後は必ずモップ乾燥を行ってください。乾燥モードは毎回「標準乾燥」に設定することをお勧めします。
- 3.本製品が掃除を終えたら、カビや不快な臭いを防ぐために、汚水タンクに貯まった水を捨ててください。以下のイラストの通りに汚水タンクの開閉を行ってください。蓋をしっかりと閉めると「カチッ」という音がします。



 汚水タンクの洗浄方法については、本ユーザーガイドの「本体の清掃とメンテナンス」の項目を参照してください。

## 5. Matter、Amazon Alexa、Siri または Google アシスタントを使って本製品を操作する

Matter、Amazon Alexa、Siri、Googleアシスタントに対応しているため、音声での操作が可能です。

**ご使用になる前に、以下の点をご確認ください：**

- 本製品がステーションに接続され、十分に充電されていること。
- 本製品がアプリに接続されていること。
- Siriで本製品を操作するには、ご使用のiPhoneまたはiPadが最新バージョンのiOSを搭載していることを確認してください。

**Matter、Amazon Alexa、Siri、Googleアシスタントを使用する前に以下の設定を行ってください。**

1. アプリの「ホーム」画面の左上隅の三本線をタップし、「サードパーティサービス」で使用するプラットフォームを選択してください。
2. 画面の指示に従って、設定を完了します。

**Matterに連携して使用する場合は以下の点をご確認ください。**

- ご使用のハブが Matter 1.2 以上に対応していることを確認してください。

## 6. チャイルドロック

アプリで「詳細設定」>「チャイルドロック」を選択すると、チャイルドロックがオンになります。

チャイルドロックをオンにすると全てのボタンがロックされ、お子様がボタンを操作し本製品を損傷させたり、お子様が怪我をするのを防ぐことができます。



## 7. 本体の清掃とメンテナンス

本製品の清掃とメンテナンスを行う前に、本体の電源をオフにし、全自動クリーニングステーションの電源コードを取り外してください。

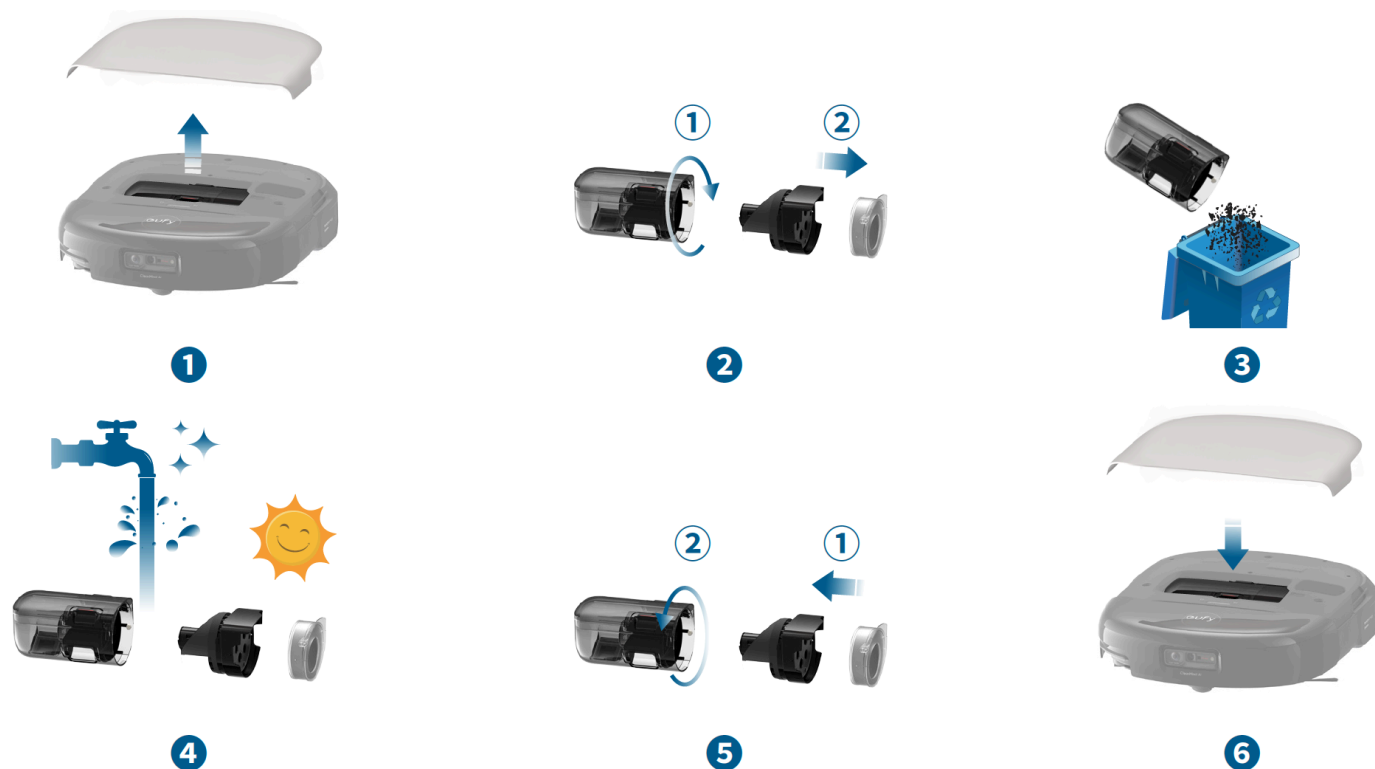
快適にご使用いただくために、以下の手順に沿って本製品の定期的な清掃・メンテナンスを行ってください。本製品の清掃 / 部品交換を行う頻度は、本製品の利用状況により異なります。

### 推奨する本体清掃 / 部品交換の頻度

本体 / ステーション	本製品の部品名	清掃頻度	交換頻度
本体 (RoboVac)	汚水タンク	2週間ごと	-
	ダスト容器	1ヶ月ごと	-
	回転モップ	-	3～6ヶ月ごと（または目に見えて摩耗した場合）
	回転ブラシ	1ヶ月ごと	6ヶ月ごと
	高性能フィルター	1ヶ月ごと	3ヶ月ごと
	サイドブラシ	1ヶ月ごと（またはサイドブラシに髪の毛が絡まった場合 / エラーが発生した場合）	3～6ヶ月ごと（または目に見えて摩耗した場合）
	センサー	6ヶ月ごと	-
	汚水タンクフィルター	-	6ヶ月ごと
	回転ホイール	使用状況に応じて清掃	-
ステーション	フロアクリーナー	-	2ヶ月ごと（1日2時間ほど掃除した場合）
	ダストバッグ	-	必要に応じて交換
	フィルタートレー	2週間ごと	-
	浄水タンク	使用状況に応じて清掃	-
	汚水タンク	使用状況に応じて清掃	-

## 7.1 ダスト容器とフィルターの清掃方法

- ① 本体の上部カバーを開け、ダスト容器を取り外します。
- ② ひねってダスト容器の蓋を外します。
- ③ ダスト容器を空にします。
- ④ フィルターを金属部分と高性能フィルター部分に分けて、ダスト容器と一緒に水でよく洗います。それぞれ完全に自然乾燥させてから取り付けます。
- ⑤ フィルターをダスト容器に取り付けます。
- ⑥ ダスト容器を本体に取り付けてから上部カバーを閉めます。



- 完全に乾いていない場合は、フィルターを使用しないでください。湿った状態でフィルターを使用すると、掃除性能に影響が出る可能性があります。
- フィルターの洗浄には、ブラシやお湯、洗剤を使用しないでください。

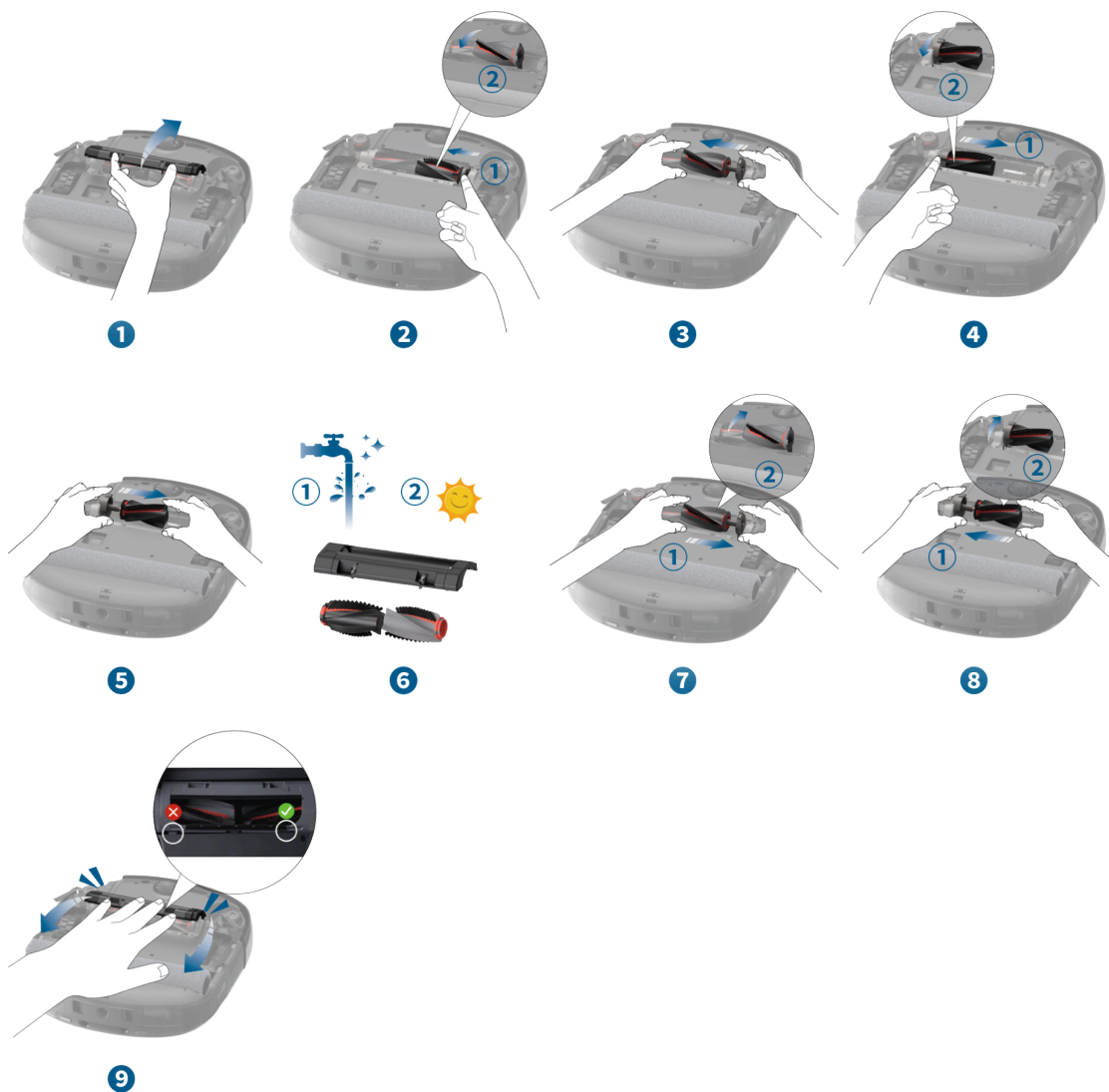
## 7.2 回転モップの交換方法

- ① 上部カバーを外し、汚水タンクを取り出します。
- ② 本体を裏返し、回転モップ側面の赤いボタンを押して軸を取り出します。
- ③ 回転モップを取り外し、モップ収納部とスクレーパーのゴミを取り除きます。
- ④ 新しい回転モップを取り付けて「カチッ」と音がするまで押し下げます。



### 7.3 回転ブラシの清掃方法

- 1 図のように、つまみを押しながらブラシガードを取り外します。
  - 2 片方の回転ブラシの側面を内側に押し込み、持ち上げます。
  - 3 軽くひねって回転ブラシを取り出します。
  - 4 もう片方の回転ブラシの側面を内側に押し込み、持ち上げます。
  - 5 軽くひねってもう片方の回転ブラシを取り出します。
  - 6 回転ブラシとブラシガードを水でよく洗います。回転ブラシとブラシガードを完全に自然乾燥させます。
  - 7 片方の回転ブラシを元の位置に戻します。
  - 8 もう片方の回転ブラシを元の位置に戻します。
  - 9 ブラシガードを、カチッと音がするまで押して閉じます。
- ※ この際、回転ブラシを巻き込まないようにご注意ください。



## 7.4 センサー、カメラ、充電端子の清掃方法

快適にご使用いただくために、定期的に落下防止センサー、カメラおよび充電端子の清掃を行ってください。

- 💡 本体の汚水タンクを取り外してから、本体を裏返してください。



- 乾いた布または清掃ブラシを使ってセンサー、カメラおよび充電端子のほこりを落とします。



## 7.5 ダストバッグの交換方法

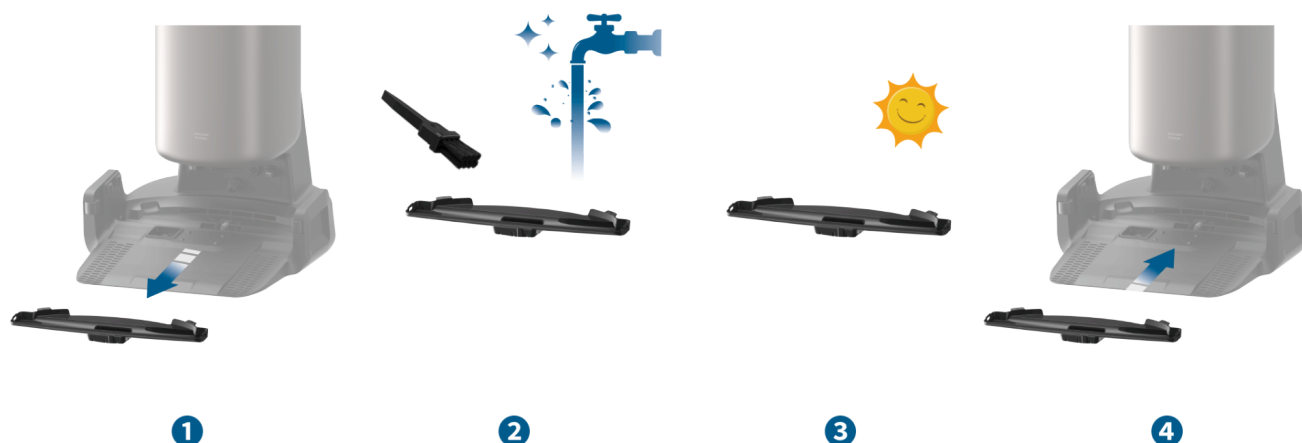
- ① 浄水タンクを取り外します。
- ② ダストバッグカバーを開けて、いっぱいになったダストバッグを取り出します。
- ③ 新しいダストバッグを取り付けます。ダストバッグが完全に挿入されていることを確認し、カバーを閉じて浄水タンクを取り付けます。



## 7.6 フィルタートレーの清掃方法

- ① フィルタートレーをステーションから取り出します。
- ② 付属の清掃ツールを使用してゴミを取り除き、水で洗い流します。
- ③ フィルタートレーを自然乾燥させます。
- ④ フィルタートレーを内側にある2つのクリップに合わせ、カチッと音がするまで両側をしっかりと押さえます。

※正常に取り付けられると、ステーションのLEDインジケーターが赤色から白色に点灯します。



## 7.7 汚水タンクの清掃方法

- 1 汚水タンクを、ステーションから取り出します。
  - 2 汚水タンクの中の水を捨てます。
  - 3 汚水タンクを流水でよく洗い、しっかりと蓋を閉じます。
- ※ しっかりと固定されると「カチッ」という音がします。
- 4 汚水タンクをステーションに戻します。



## 8. トラブルシューティング

エラーが発生した場合は、アプリ内の指示に従って解決してください。問題が解決しない場合は、カスタマーサポートへお問い合わせください。

## 9. 製品の仕様

	サイズ	約32.6 x 35.8 x 9.8 cm
	重さ	約5.2 kg
	バッテリータイプ	4600mAh リチウムイオン電池
	入力	25V=1.5A
	掃除時間	最大 260分
	充電時間	約4時間
	浄水タンクの容量	120ml
	汚水タンクの容量	150ml
	サイズ	約38.7 x 47.6 x 67.0 cm
	重さ	約9.5 kg
	浄水タンク	3L
	汚水タンク	2L
	ダストバッグの容量	2.5L




- 本製品は温風乾燥機能を搭載しています。周囲の温度が35°Cを超える場合は本体への充電を優先し、充電が完了するまでは、室温での送風乾燥が実行されます。
- 国や地域により電圧規格が異なります。安全上の問題や機器の損傷を避けるため、ご利用になる地域に対応した製品をご使用ください。

## 10. カスタマーサポート

お問い合わせ：

 support@anker.com

 03 4455 7823

### 最大24ヶ月保証

ご注文日から18ヶ月の間(注)、ご使用いただいている製品に不具合と思われる事象が生じた場合、当該事象を弊社が不具合であると確認した後、同一製品との交換、又は修理対応等当社にて適切と判断する対応を承ります。その際の送料は弊社が負担いたします。加えて、Ankerで会員登録いただくと、通常18ヶ月の製品保証を24ヶ月へ自動延長致します。(注：予約注文を除く。予約注文に限り、発送日から起算させていただきます。)

ただし、在庫切れ、販売終了等、弊社の都合で同一製品との交換、又は修理対応等当社にて適切と判断する対応ができない場合、同等品の後継品に交換させていただくか、もしくは、システム上で製品代金を返金させていただく等の対応となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。なお、お客様過失による不具合の場合は、本保証の対象外とさせていただきます。 <https://support.eufy.com/>

## 11. レーザーに関する注意事項

レーザーに関する注意事項

クラス1レーザー製品

消費者用レーザー製品EN 50689:2021

1. 本製品のレーザーセンサーは、IEC 60825-1:2014およびEN 60825-1:2014/A11:2021 クラス1レーザー製品の規格を満たしています。
2. 本製品が発するレーザーは、皮膚や角膜のやけどの原因となる恐れがあるため、動作時は光線を覗き込まないこと。
3. お子様が発するレーザーの光線を直視したり、光学機器を使って光線を見たりしないよう、十分に注意すること。
4. 人体への影響や火災・事故を防ぐため、レーザー光の照射範囲内にルーペや反射鏡などの光学機器を置かないこと。
5. 思わぬ事故につながる恐れがあるため、レーザーセンサーを絶対に分解・改造・修理しないこと。
6. レーザーセンサーに不具合や破損が生じた場合は、直ちに使用を中止し、弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。